

ダイエット業界初！ 塗るだけエクササイズ

誰もが憧れる理想的な体づくりを可能にする

かんたん

ETM塗るだけ Exercise エクササイズ

コンドースポーツ

岡崎市緑丘2丁目10-23

TEL54-0505 FAX55-8237

カフェでくつろいでいても、、、
映画を見ていても、、、
通勤中でも、、、

エクササイズしていた事に!?

そもそも、体型が崩れる理由は、、、

老化 運動不足

皮下脂肪組織に変化が生じ体の一部の部位「腹部、臀部、脚部」の脂肪の蓄積量が増加する。

↓
筋肉の質が劣化

↓
代謝の低下

↓
筋持久性と筋緊張の悪化



つまり、
体型の悪化は下層にある**筋肉繊維の変化**によって生じます。

これらを改善するには**持久運動**「ジョギング、サイクリング、水泳」
を行う必要があります。

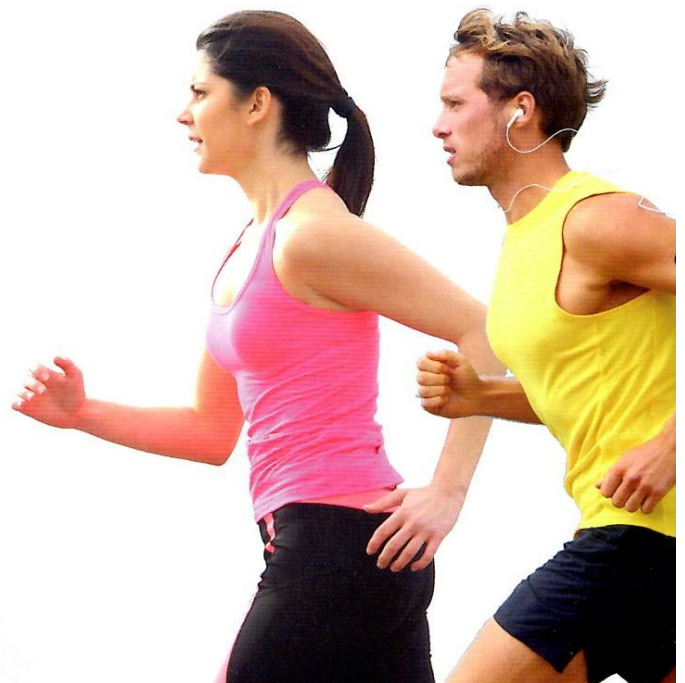
持久運動を行うと

皮下脂肪の蓄積量の減少

↓
筋肉繊維の質が向上し
1型筋繊維 {遅筋} がつく

↓
代謝の向上

↓
筋持久性の向上、筋緊張の向上



Point

ただ痩せるだけでは理想の体にはなれない!?

食事制限などでただ痩せるだけでは、脂肪と一緒に筋肉も落ちてしまい、体重が落ちても、美しいシルエットは手に入りません。皮膚がたるんでしまうのです。また、筋肉が減ってしまった分、代謝が悪くなり、さらに痩せにくい体質に。運動をし、適度な筋肉をつけることで、代謝が良くなり、太りにくい体に改善されます。適度な筋肉がついた体は、同じ体重でもシルエットが全く異なってきます。



持久運動トレーニングを行った場合の体の中で起る変化

- POINT 1 脂肪組織からアディポネクチンの放出量が増加! *P4 POINT1参照
- POINT 2 ミトコンドリア代謝が大幅に強化&ATP生成が増加! *P4 POINT2参照
- POINT 3 ヒト細胞骨格繊維におけるミトコンドリアの増加と代謝活性によりヒアルロン酸とコラーゲン量の増加!
- POINT 4 筋緊張をもたらす1型筋繊維の増加! *P4 POINT4参照



体が引き締まっていく!

そうはいつでも、、、
なかなか時間が取れない

つらいのは
ちょっと、、、

運動が苦手、、、

そんなあなたに。

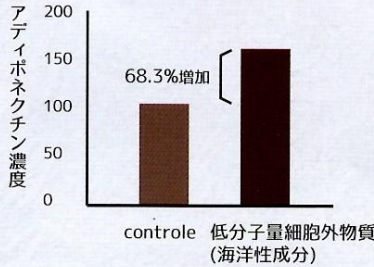
塗るだけエクササイズ

塗るだけで持久運動をした状態と同じに!

SPARK D Dフォームに含まれている低分子量細胞外物質(海洋性成分)を塗ると、持久運動をした状態と同じになることがわかりました。

Spark D D Form を塗った場合の体の中で起る変化

POINT 1 脂肪組織からアディポネクチンの放出量が増加!



アディポネクチンとは、筋肉繊維に脂肪を放出する為のシグナル伝達を行う成分。
アディポネクチンが増加すると、脂肪組織から筋肉繊維に送られる脂肪の量が増加し、有酸素代謝が強化されます。さらに、ヒアルロン酸とコラーゲンの合成量を増やします。

図1, 脂肪細胞が放出したアディポネクチン濃度

POINT 2 ミトコンドリア代謝が大幅に強化&ATP生成が増加!

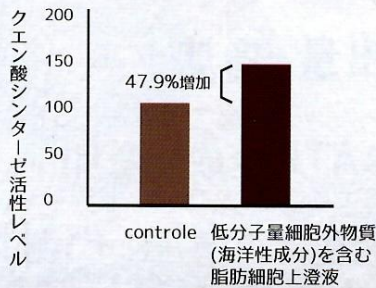
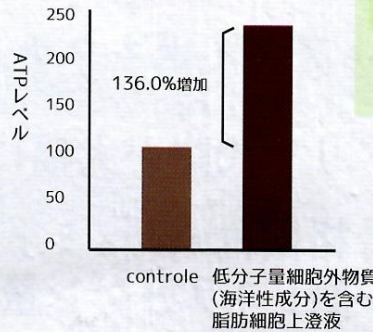


図2, 脂肪細胞上澄液で培養した筋細胞のクエン酸シンターゼ活性レベル

クエン酸シンターゼ活性が増加し、それにより筋細胞内のミトコンドリア機能が47.9%強化されました。



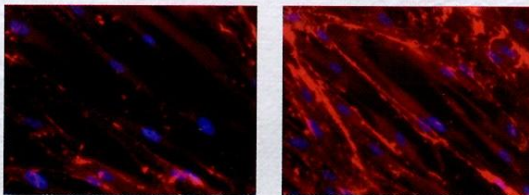
ATPとは、エネルギーを運ぶ分子。エネルギーを長時間、安定して供給します。

筋繊維に含まれるATP濃度が136%増加したことから、ミトコンドリア機能が大幅に改善されたことが明らかになりました。

図3, 脂肪細胞上澄液を用いて培養した筋細胞のATP濃度

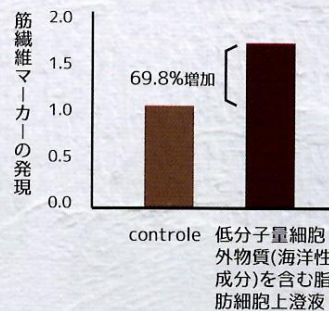
POINT 3 ヒト細胞骨格繊維におけるミトコンドリアの増加と代謝活性によりヒアルロン酸とコラーゲン量の増加!

POINT 4 筋緊張をもたらす1型筋繊維の増加!



各種の筋繊維には異なるイソ型のミオシンタンパク質が含まれており、遅筋ミオシンα重鎖は、遅筋1型繊維によって発現します。

図4, 脂肪細胞上澄液を用いて処理した筋繊維の代表的な免疫蛍光写真



低分子量細胞外物質の作用により、脂肪細胞シグナル伝達を通じて、1型筋繊維マーカーの発現が69.8%増加しました。

図5, 免疫蛍光像による遅筋ミオシンの定量測定結果

POINT 5 脂肪の摂取と合成に関与する遺伝子の発現の下方調節される

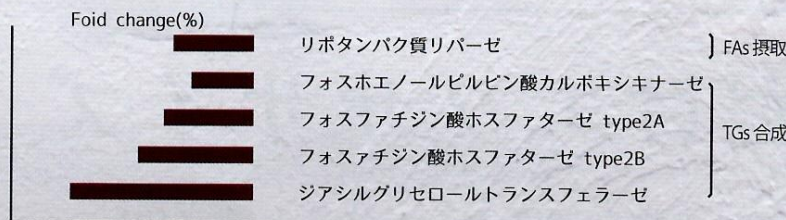


図6, 大幅に下方調節された遺伝子の抑制倍率 (%)

低分子量細胞外物質(海洋性成分)により、一次脂肪細胞のFA摂取とTG合成に関与する遺伝子の発現が下方修正されました。

約8割が実感!

デスクワーク中心のライフスタイルを送っている女性60人を3つのグループに分け、56日間実施しました。

Group 1

ジムで標準的な運動を週2回。プラセボクリーム（有効成分を含まない）を1日に2回塗布。

Group 2

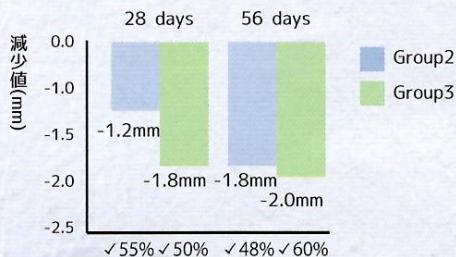
低分子量細胞外物質（海洋性成分）を5%含有するクリームを1日に2回、腕、腹部、大腿部に塗布。

Group 3

低分子量細胞外物質（海洋性成分）を5%含有するクリームを1日に2回塗布し、Group 1と同じトレーニングプログラムを実施。

皮膚のたるみ

腹部の腸骨上の肌のたるみについて、製品を使用してから28日目と56日目に計器による測定を実施し、皮下脂肪組織を間接的に評価しました。皮膚のたるみと皮下脂肪をつまみ。キャリパーを用いてたるみの厚さを測定しました。

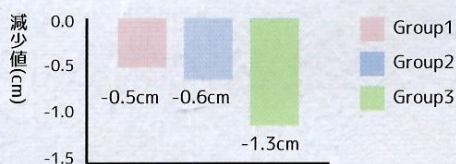


56日後には48%の被験者にたるみ厚の減少がみられ、その平均は1.8mmとなりました。この値は割合にして19.2%の減少に相当します。運動を同時に行った場合、60%の被験者のたるみ厚が2.0mm（21.1%）減少しました。

図7, 反応の大きな被験者における腸骨筋のたるみ厚の平均減少量（28日後、56日後）
反応の大きな被験者(✓):0.6mm以上減少した被験者の割合(%)

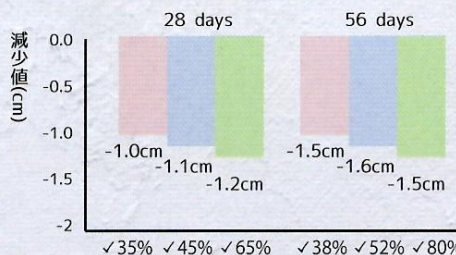
腹部

低分子量細胞外物質（海洋性成分）による減少効果を評価するため、処理開始から28日後と56日後に腹部、大腿部、腕の周囲長をセンチメートル単位で測定し、比較しました。



28日後、この低分子量細胞外物質（海洋性成分）により腹部の周囲長が最大2.8cm減少しました。また同時に運動を行った場合には最大3.1cm減少しました。

図8, 全ボランティア被験者の腹部周囲長の平均減少値（56日後）（*P<0.05）



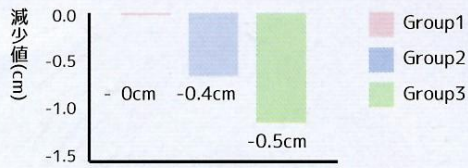
28日後、65%の被験者の腹部周囲長が平均1.2cm減少しました。56日後、52%の被験者の腹部周囲長が平均1.6cm減少しました。

図9, 反応の大きな被験者における腹部周囲長の平均減少量（28日後、56日後）（*P<0.05）
反応の大きな被験者(✓):0.5cm以上減少した被験者の割合(%)



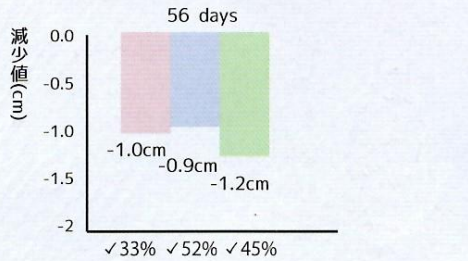
大腿部

低分子量細胞外物質(海洋性成分)による減少効果を評価するため、処理開始から28日後と56日後に腹部、大腿部、腕の周囲長をセンチメートル単位で測定し、比較しました。



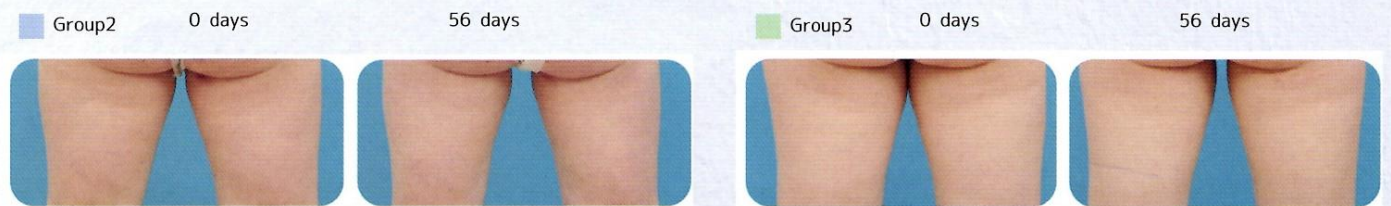
56日後、この低分子量細胞外物質(海洋性成分)により大腿部周囲が最大2.1cm減少しました。また同時に運動を行った場合には最大2.9cm減少しました。

図8, 全ボランティア被験者の大腿部周囲長の平均減少値(56日後) (*P<0.05)

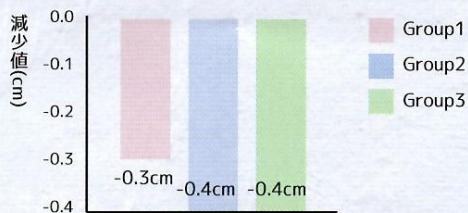


56日後、65%の被験者の大腿部周囲長が平均0.9cm減少しました。また同時に運動を行った45%の被験者では、最大1.2cm減少しました。また、輪郭が滑らかになりました。

図9, 反応の大きな被験者における大腿部周囲長の平均減少量(28日後、56日後) (*P<0.05)
反応の大きな被験者(✓):0.3cm以上減少した被験者の割合(%)

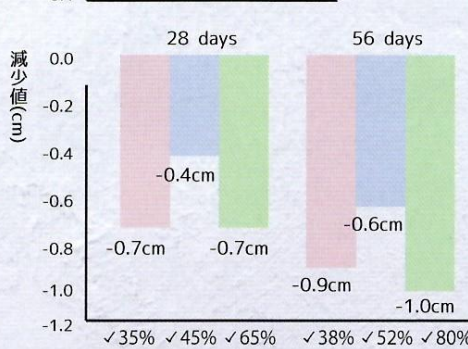


腕



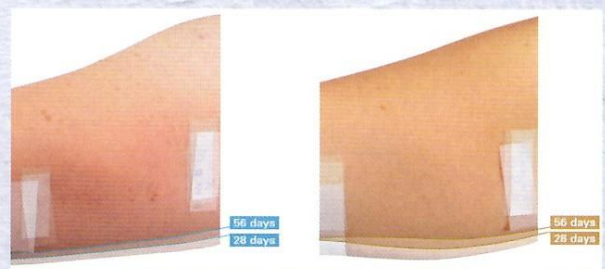
56日後、この低分子量細胞外物質(海洋性成分)により腕の周囲長が最大1.3cm減少しました。また同時に運動を行った場合には最大2.4cm減少しました。

図8, 全ボランティア被験者の腕部周囲長の平均減少値(56日後) (*P<0.05)



56日後、71%の被験者の腕の周囲長が平均0.6cm減少しました。

図9, 反応の大きな被験者における腕部周囲長の平均減少量(28日後、56日後) (*P<0.05)
反応の大きな被験者(✓):0.2cm以上減少した被験者の割合(%)



体重

開始前と28日目、56日目に体重を測定しました。被験者は衣服をすべて脱ぎ、体重計の上に乗すぐに立ち、各測定日の同じ時刻に測定を行いました。



28日後、この低分子量細胞外物質(海洋性成分)により体重が最大3.1kg減少しました。また、同時に運動を行った場合には、最大2.2kg減少しました。

56日後、この低分子量細胞外物質(海洋性成分)により体重が最大4.8kg減少しました。また、同時に運動を行った場合には、最大3.4kg減少しました。

図9, 反応の大きな被験者の体重の変化(56日後) (*P<0.05)
反応の大きな被験者(✓):1kg以上減少した被験者の割合(%)